

報道関係各位（計3枚）



2019年5月24日

NIPPON Platform 株式会社

ニッポンプラットフォーム、 曹洞宗大雄山東祥寺と事業連携協定を締結 お寺のキャッシュレス化へ向け QR コード決済導入へ

「日本をキャッシュレス化する」及び「中小個人商店を中心とするおみせ活性化を起点とした地域創生・地方創生の実現」をビジョンに掲げ、様々なキャッシュレスソリューションを提供する NIPPON Platform 株式会社（東京都品川区、代表取締役会長：高木 純、代表取締役社長：菱木 信介、以下ニッポンプラットフォーム）は、2019年5月16日に千葉県印西市の曹洞宗大雄山東祥寺（住職：中村 廣教、以下東祥寺）と事業連携協定を締結しました。当社での関東県内の寺院に QR コード決済を導入するのは、東祥寺が先駆的な試みです。



写真左：中村 廣教 住職 右：NIPPON Platform 株式会社 菱木 信介

■ 「お寺のキャッシュレス化」でインバウンドへの対応強化を目指す

550余年の歴史ある寺院である東祥寺は、成田国際空港から東京方面へ約20km。東京都内からも公共交通機関で約1時間半と交通の便が良く、数多くの訪日外国人観光客の訪問が見込まれています。こうした背景から、東祥寺では「おもてなし」の一環として、海外での利用が一般的であるQRコード決済を導入し、訪日外国人観光客が日本円の現金を持たずともスマートフォンひとつでお賽銭が可能になる体制を整えます。

導入されるタブレット端末は複数の決済ブランドに対応しており（下記参照）、国内のみならず中国やシンガポールなどの海外決済ブランドもQRコード決済が可能です。タブレット端末の設置により、訪日客の対応強化が期待されます。さらに、お賽銭をキャッシュレス化することで賽銭泥棒対策や、お賽銭の金銭管理の負担軽減など、寺院にとって数多くのメリットが見込まれています。

連携協定期間中のタブレット端末の使用料及びQRコード決済に係る決済手数料は、ニッポンプラットフォームが負担することで、東祥寺による先進的な「お寺のキャッシュレス化」を支援し、インバウンド対策や観光振興、地域経済の発展に貢献していきます。



写真左：東祥寺本堂 右：鐘楼門

■ 曹洞宗東祥寺で利用予定の決済ブランド（2019年5月24日現在）

Amazon Pay, d払い®

■ ニッポンタブレットで利用できる決済ブランド（2019年5月24日現在）

Amazon Pay, d払い®, pring, atone, PAY ID, WeChat Pay, Alipay, NETS Pay, DBS PayLah!, OCBC Pay Anyone, UOB Mighty

■ NIPPON Platform 株式会社について

本 社：〒141-0021 東京都品川区上大崎2-14-5-3F

H P：https://nippon-platform.co.jp/

代 表：代表取締役会長 兼 海外事業CEO 高木 純
代表取締役社長 兼 国内事業CEO 菱木 信介

設 立：2016年10月

資 本 金：502,487,400円（資本準備金含む）

事業内容：スマート決済プラットフォーム事業、おみせプラットフォーム事業

顧 問：橋田 浩一（PLR*1技術顧問）

東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャルICT研究センター教授

*1自律分散型の集めないビッグデータを実現するための技術。

PDS (Personal Data Store) の一種で個人生活録 (PLR: Personal Life Repository) のこと。

■ 曹洞宗東祥寺について

所 在 地：〒270-1613 千葉県印西市鎌苅543-1

H P：http://tousyouji.sakura.ne.jp/index.html

住 職：中村 廣教

本件に関するお問い合わせ

【曹洞宗東祥寺】

Tel: 0476-99-1707 / E-mail: tousyouji@ever.ocn.ne.jp

【NIPPON Platform 株式会社】グループ広報担当 増井・高橋

Tel: 03-4546-1766 / E-mail: pr@nippon-g.jp